



網走市新庁舎建設基本構想 【概要版】

令和2年8月

『網走市新庁舎建設基本構想』は、現庁舎の課題（耐震性の不足、施設・設備の老朽化、省エネ・バリアフリー等への対応不足など）を解決するため、網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会や地域説明会、まちづくりふれあい懇談会、市民アンケートなどの意見・提案を踏まえ、基本理念や方針、建設位置などを定める「構想編」と、これをより具体化し、新庁舎に備える機能や規模など、今後の設計や施工に向けて基本的な整備方針を整理する「計画編」を併せて策定するものです。



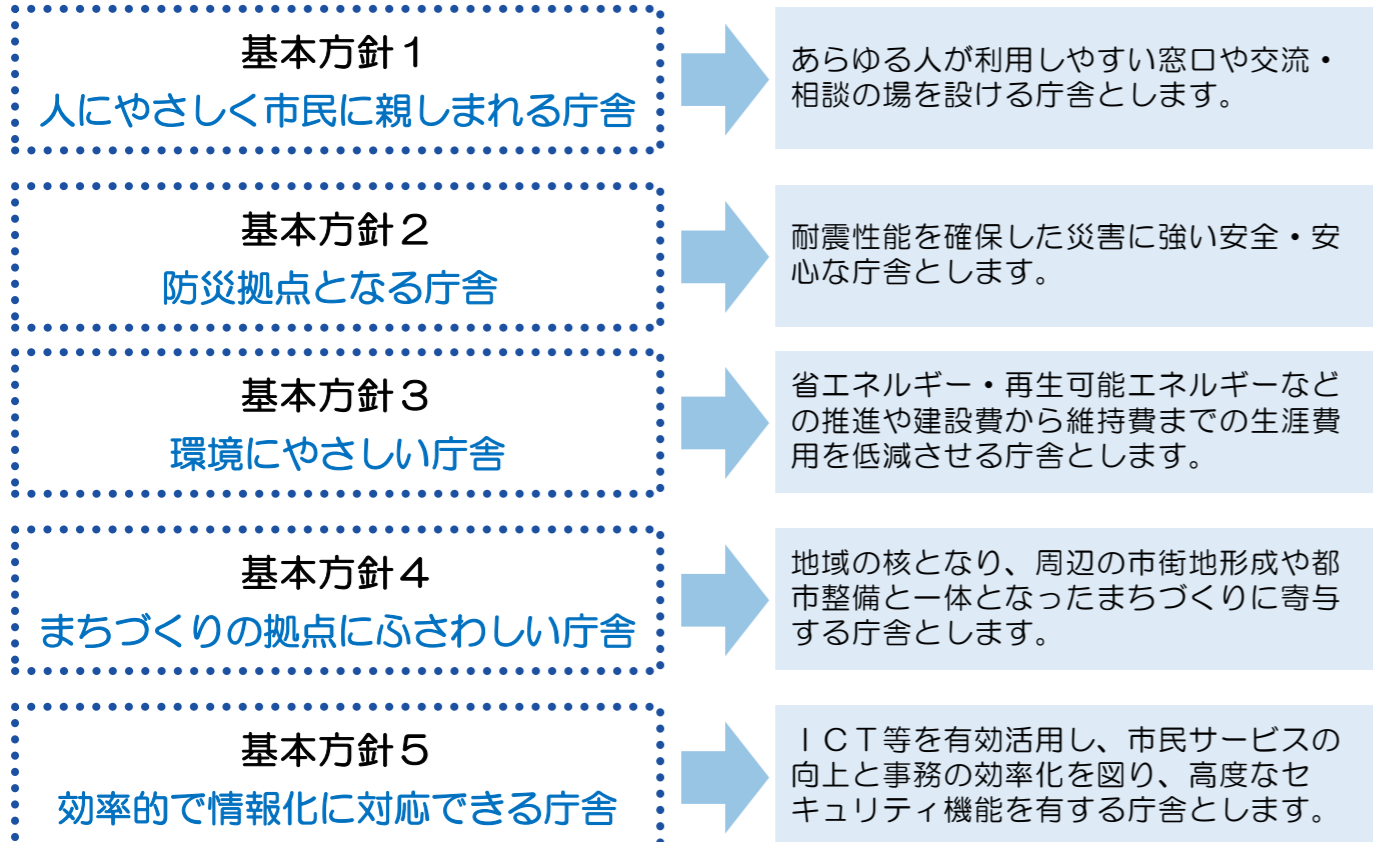
〈現庁舎：本庁舎（上）／西庁舎（下）〉

新庁舎の基本理念・基本方針について



現庁舎の課題や新庁舎の果たすべき役割などの整理をもとに、より充実した市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指して、新庁舎建設の基本理念を次のように設定します。

基本理念

市民に自然にやさしいスマート庁舎



新庁舎の機能について

基本方針	導入機能・方針
基本方針1 人にやさしく市民に親しまれる庁舎	窓口機能 <ul style="list-style-type: none"> 窓口業務を行う関連部署を低層階に集約 ワンフロアストップサービスの採用 使いやすい、わかりやすい窓口カウンターの設置 プライバシーに配慮した相談スペースの設置 
	行政事務機能 <ul style="list-style-type: none"> 効率的で最小限の執務スペース 間仕切りのないオープンフロア ユニバーサルレイアウトの採用 会議形態や利用人数に対応できる会議室など 
	バリアフリー ユニバーサルデザイン機能 <ul style="list-style-type: none"> 総合案内の設置 わかりやすい案内表示板 障がい者等に配慮した駐車場 多目的トイレや授乳室等の設置など 
	議場・議会関連諸室機能 <ul style="list-style-type: none"> 市民に開かれた議会 議会関連諸室の効率的な配置 容易に議会情報を入手できる環境整備
基本方針2 防災拠点となる庁舎	防災拠点機能 <ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部の整備 重要諸室を中層階以上に設置 72時間の非常用電源の整備 一時避難スペースの確保など
	セキュリティ機能 <ul style="list-style-type: none"> 重要エリアの入退室管理 防犯カメラの設置 個人情報保護に配慮したレイアウトなど
基本方針3 環境にやさしい庁舎	環境負荷低減機能 <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギーの推進 再生可能エネルギーの活用、検討など
	維持管理機能 <ul style="list-style-type: none"> 建築物の長寿命化や更新時への配慮など
基本方針4 まちづくりの拠点にふさわしい庁舎	市民活動機能 <ul style="list-style-type: none"> 自由に過ごすことができる待合スペースの設置 駐車場はイベントや市民活動・市民交流に活用など 
	ICT機能 <ul style="list-style-type: none"> ICT機能を活用できる環境の整備 フリーWi-Fiの設置など
基本方針5 効率的で情報化に対応できる庁舎	情報セキュリティ機能 <ul style="list-style-type: none"> データ等のバックアップ機能の強化 庁舎内ネットワークの形成など

新庁舎の建設場所について

新庁舎は、各観点から総合的に判断し、金市館ビル跡地周辺敷地に建設します。

市庁舎は、災害発生時に救援・支援活動が可能で、災害の後も市民生活に必要なライフラインの維持・確保及び復旧活動などを継続できる強靱な建物を必要としています。しかしながら、現庁舎は老朽化が著しく、耐震性も不足しており、物理的に防災機能を強化することもできません。

そのため、一刻も早く、防災機能を強化した新しい庁舎を建設するために、国の財政支援制度を活用することで、市民負担の最も少ない建設経費で整備が可能となる『金市館ビル跡地周辺敷地』を新庁舎の建設地とします。

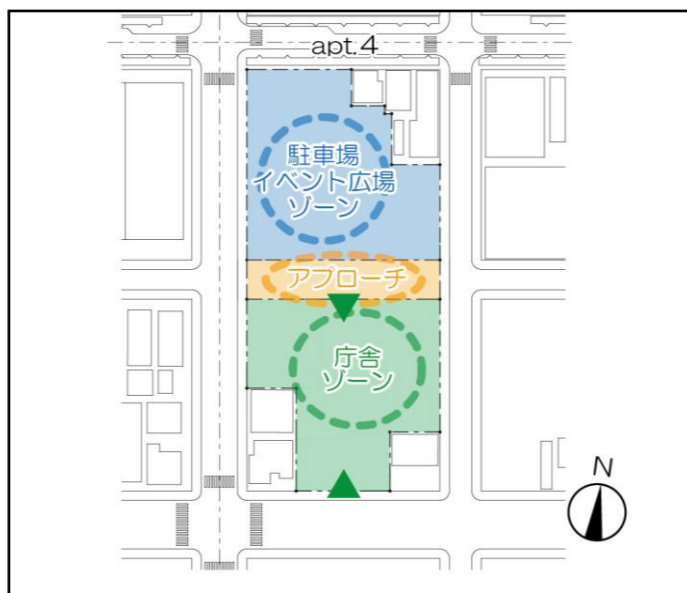
このことは、条例制定に必要な地方自治法に定める条件を満たし、目指すべき網走の姿を定めた「網走市総合計画」や「網走市都市計画マスタープラン」等の上位計画の内容とも合致しています。

- 国の財政支援を得て庁舎建設を進める場合、最短で令和6（2024）年度に利用開始できるようになります。
- 建物強度は耐震基準の1.5倍としますので、大規模地震が発生した場合にも耐えられる防災拠点になります。
- 国の財政支援は、建設経費の22%を国が負担するものです。



〈図：金市館ビル跡地周辺敷地〉

- ①金市館ビル跡地
駐車場やイベント広場として利用することとし、所有者である網走中央商店街振興組合と無償の土地使用貸借契約を締結するための協議を進めます。
- ②道路用地
市道南5条通は、廃道にすることとします。
- ③市有地
- ④隣接地（民有地）
利用の多い窓口機能を低層階に集約し、バス停留所への動線を確保するなど市民の利便性を向上させるため、隣接する更地の民有地を取得することとします。



〈図：配置イメージ〉

概算工事費

約49億円

※7,000㎡の想定で道内自治体の建設工事費を参考に算定しています。

※設計費や外構工事費、備品購入費、引越費などの経費は別途となります。

事業スケジュール

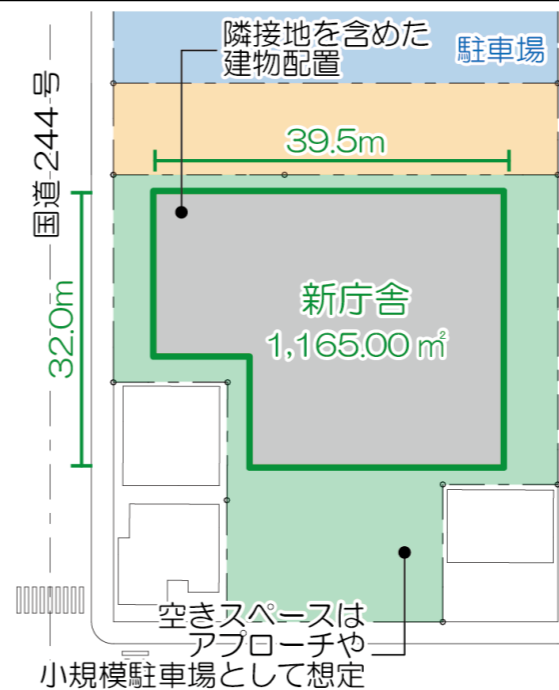
令和2年度～令和3年度：基本設計・実施設計
令和4年度～令和5年度：建設工事・外構工事
令和6年度：供用開始

新庁舎の規模・建設計画について

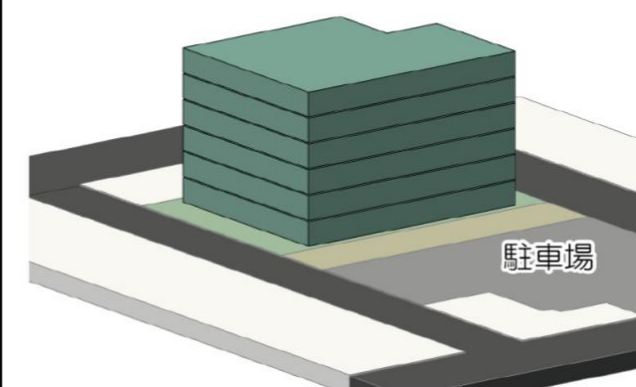
新庁舎の規模

- 職員数など …職員数：347人／議員数：16人
※職員数は、現在の本庁舎、西庁舎、保健センターに在籍する人数
※議員数は、「網走市議会議員定数条例」の人数
- 新庁舎の面積 …約7,000㎡を基本に、可能な限り面積縮小に取り組む
※現庁舎面積：6,721.0㎡
(本庁舎：5,113.6㎡／西庁舎：1,607.4㎡)
- 来庁者用駐車場…72台を確保
※現庁舎の駐車場台数：67台（本庁舎・西庁舎の合計）

配置計画



建物ボリュームイメージ（6階建て）



建築面積：1,165.00㎡
延床面積：7,000.00㎡
階高：4m
高さ：24.5m

階層計画

- 低層階：市民利用エリア／窓口業務エリア
市民の利用頻度が高い窓口や、市民が集うロビーや待合スペース
- 中層階～高層階：行政事務エリア／災害対応エリア（中層階のみ）／一時避難エリア
市民利用の利用頻度が低い部署、災害対策本部やサーバー室や電気室等の重要諸室
- 高層階：議会エリア
議場や傍聴席、委員会室

構造計画

大規模地震が発生した場合にも、防災拠点施設としての機能が十分に発揮できる耐震性、安全性を確保するため、構造体の耐震安全性の目標を『耐震基準の1.5倍の強度』に設定します。
構造形式は、イニシャルコスト、ランニングコストともに最も安価な『耐震構造』とします。

発行：網走市（庁舎整備推進室） 〒093-8555 北海道網走市南6条東4丁目
TEL：0152-44-6111（内線341・351） FAX：0152-43-5404
URL：https://www.city.abashiri.hokkaido.jp/